

《 演劇史の証言 西形節子氏に聞く 》

「生きた演劇史の証言」と題した企画講演会シリーズ。今回は舞踊研究・評論家の西形節子（にしかた・せつこ）氏に、お話し頂きます。西形節子氏は、芸術祭舞踊部門審査委員長等を歴任された日本舞踊批評の第一人者であり、歌舞伎解説イヤホンガイド発足時より解説員をつとめられた、舞踊作品解説のパイオニアです。

1929年東京都生まれ。鎌倉で育ち、作家・文芸評論家の林房雄邸に集った映画監督の小津安二郎や作家の永井龍男、今日出海ら文化人と交流。18歳で初代藤間勘齋（七代目松本幸四郎）から藤間すみれの名を許され、二代目尾上松緑と交流し、勘右衛門派の日本舞踊師匠として活躍しました。

早稲田大学文学部演劇学科では俳優・宇津井健らと同級。同大学院文学研究科修士課程では河竹繁俊のもと鳥越文蔵・今尾哲也・竹内道敬らとともに演劇を学び、お茶の水女子大学・共立女子大学にて歌舞伎と日本舞踊の講義も担当されました。歌舞伎と日本舞踊の研究成果は、近著『日本舞踊八十年』（2015年、南窓社）をはじめ、全5巻の『日本舞踊の心 芸談で綴る解説』（2002-2003年、演劇出版社）等の著書、服部幸雄他編『歌舞伎事典』（1983年、平凡社）や河竹登志夫編『原色歌舞伎詳細』（1982年、グラフ社）等の辞典類にも著されています。

審査員として舞踊公演の振興に尽力される一方、新しい舞踊の在り方を模索し、NPO法人日本舞踊21等を立ち上げ、全国公演の企画運営も手掛けられました。

長年にわたる歌舞伎と日本舞踊の鑑賞、解説のご業績を通じ、様々な交流、ご経験もたくさんお持ちのことでしょう。イヤホンガイドの40年にまつわるエピソードや思い出の人びとについてもお話を伺いたいと思います。どうぞご期待ください。

日時： 2018年7月14日（土） 14:00～16:00（13:30開場）

会場： 国立能楽堂 大講義室（JR「千駄ヶ谷」駅、大江戸線「国立競技場」駅徒歩5分）

聞き手： 神山彰（明治大学教授）・児玉竜一（早稲田大学教授）

資料代： 歌舞伎学会員 1,000円 非会員 1,500円

主催： 歌舞伎学会

お問い合わせ：歌舞伎学会事務局

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学演劇博物館内

電話 03-3208-0325（直通/月曜日:午後1時～5時在室） E-mail kabukiga2014@yahoo.co.jp